

## 意見書に対する回答について

項目	意見	回答
入院患者受入状況 地域医療構想関連	病床利用率が、一般と療養で大きく異なっている。当面の療養病床の需要は大きいと考えられるので、地域医療構想を踏まえ、長期的には両病床の比率を見直す必要があると思う。	一般病床は約 60%で推移しているが、市内で急性期に対応できる病院は当院のみである。また、地域医療構想上における病床削減は、先般の再編統合で一定程度実施されたものとする。今後の医療需要に応じて、地域医療構想等を踏まえた病床機能の最適化を検討する。
経営状況	外来・入院患者数は減少傾向にあるが、患者単価はどちらも増加しており、経営努力が反映されていると考えられる。引き続き、単価向上に努めて頂きたい。	市民に身近な医療を提供できる体制を維持するため、継続して取り組む。
医師の働き方改革	医師の労働時間は他医療施設での勤務を含め、常勤先医療機関が把握する義務があるため、実態調査が必要と考える。	指定管理者において、他医療施設における勤務状況も把握していることを聞き取りで確認済み。
収支計画	病院の決算書等で示される具体的な医業収益の記載がないので、医業収益比率の記載があるものの、計画している経営内容が分からない。病院経営側の収支計画も示してほしい。	ご指摘のとおり、経営目標の比率に対する具体的な数値が不明のため、追記する。 ⇒本日の資料に反映済み

※その他、資料の記述、体裁に関しては、資料に反映済み